

書塾の仲間たち

第261回

田村書道教室（東京都足立区）



●書塾からひとこと●

当教室は、東武スカイツリーラインの五反野駅近くに教室を開き、今年で二十五年になります。

十四年前に「書塾の仲間たち」に掲載していただいたときの生徒は十四名でしたが、現在は六十名ほどになりました。小学生のころから通ってくれている生徒が今では昇段試験を受験するようになり、私も指導に熱が入っています。

また、息子が通っていた小学校で縁があり、十年ほど前から十二月中旬に、特別授業として一年生から六年生まで書初め課題を教え、三百人ほどに添削もしております。おかげで私自身も大いに勉強になりました。

当教室では毎年、日本武道館主催の全日本書初め大展覧会と高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会に出品しております。七年前の事になりますが、息子がテレビ東京賞を受賞し、当時はホテルで行われていた念願の表彰式に出席したことを今もよく覚えています。指導するにあたり、一人一人にあわせて教えています。生徒が努力することで、上手に書けた喜びや自信を持てるような指導に取り組んでおります。

子どもたちからは元気をもらいたい、大人の方とはいろいろな話をしながら、長く楽しく続けていきたいと思っております。これからも生徒の皆さんと一緒に歩んでいき、生涯現役で精進に励むこと、それが現在の私の願いです。

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。
田村書道教室 田村 智美

私の父は、いつも私を笑わせたり、楽しませてくれます。そして父はとても上手に綺麗な字を書きます。私はそんな父が大好きです。

父が小学生の時に書写書道教室に通っていたことを知つて私も通いたいと思うようになり、それがきっかけでむき書写書道教室に通うようになりました。

今は硬筆と毛筆の両方を習っていますが、私は毛筆のほうが好きです。先生から「ひらがなを書くときのやわらかさがすごく上手だね。はね、はらい、とめもしっかり書けているね！」と褒めてもらえて、とても嬉しくなり毛筆が大好きになりました。家族にも褒めてもらえることも多くなったことで、より毛筆書きに自信を持つて取り組めるようになりました。

月刊『書写書道』の競書へは毎月出品しています。級が上がらない月はすごく悔しいです。そんなときは先生と一緒にお手本と自分の作品を見比べて、次回はここを直そうと反省して次の作品に活かしています。

また、学校の宿題の書き取りや学校の授業ノートも丁寧に書くように心がけています。そのような工夫の成果は確実に出てきていると感じています。最近、小学校の作品展でも賞をいただきました。母からご褒美をもらったり、父から褒めてもらえたことが何よりも嬉しかったです。

書道への気持ちは、大好きな父への憧れから父を超えていという思いに変わっています。父の背中を追いかけている私ですが、いつか父を追い越せるように頑張ります。これからもご指導をお願いします。

父の背中を追いかけて

静岡県浜松市立積志小学校五年 執行珠生花

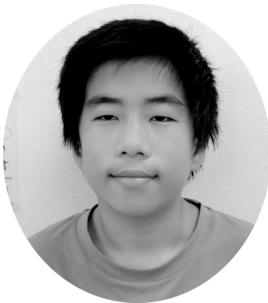


私と書写書道 第261回

速書とリズムとお手本の大切さ

静岡県浜松市立積志小学校六年 川市一颯

学年	小六
現段級	
級	
氏名	川市一颯



私は小学五年生の時に書道を始めました。丁寧な文字を速く書くことが苦手だった当時、ポストに入っていた「そろばん、速読解、書写書道を習つませんか」と書いてある手紙を見たことがきっかけでした。

むき書写書道教室は「美しく・正確に・速く」書くことを目標にしていました。はじめの五ヶ月ぐらいは、自分なりにお手本をしっかり見ながら書くと、一枚仕上げるのに二十分以上かかるで、速書にはほど遠い状況でした。練習しても速く上手に書けないので悩んでいました。

そんな時、ある月の目標掲示に「美文字、速書は筆順が基本」と書いてありました。そこでお手本をただ真似て書くのではなく、書く前に先生と書き順を確認し、指でお手本をなぞりながら書くイメージをしてみました。硬筆も毛筆もそのイメージを思い出しながら書き進めると、今までよりも書き順を確実に覚えることができました。目標に近づいた実感が出てきましたが、自分のイメージする速書にはまだませんでした。

先生と一緒に考えて、次に気をつけたのは「姿勢」です。猫背にならないよう、また床に足全体をつけて書くように心がけました。直接速書にはつながりませんでしたが、以前より集中できるようになりました。

次に教わったのはリズムよく書くことです。お手本の筆順を心の中で二、三とイメージしてから書くように工夫をしたところ一枚を十五分以内で完成できるようになりました。今はリズムを少しづつ速くしていき、難しい漢字でもお手本を見ながらですが、苦労せずに書けるようになります。

これからも速書とリズムとお手本を大切に、美しい文字が書けるよう努めます。